

表丹沢方面：登山道補修隊

令和7年12月17日（水）

大山山頂周辺

＜大山山頂周辺の登山道の補修活動を行いました＞

- 神奈川県自然公園指導員9名、パークレンジャー等スタッフ6名の計15名で、登山道の補修作業を行いました。現場は阿夫利神社下社側の登山道とヤビツ峠側からの登山道の合流点から山頂に向かって130メートルほどのところ、シカの侵入防止グレーチングに溜まった土の除去を実施しました。
- 作業前の状態です。土があふれて固まりグレーチングの溝がシカよけの役割を果たしていません。これを除き、グレーチング下の土も掘り出します。



土で溝が埋まったグレーチング

- 最初に固定ボルトを外していきます。簡単に思えますが、狭いボルト周りに固まった土を取り除くのは時間のかかる作業でした。外したグレーチングは立てかけて溝の間の土を取り除きます。



ボルトも狭い場所に止められています



移植ごてなどを用いての除去

- 下に溜まった土は掘り出して土のうに詰めました。また、雨水を脇に流すために設置されたU字溝の土も取り除きました。



掘り出した土を土のう詰めする



左の柵の外側にU字溝が設置されています

- 今回は階段片側半面の処理となりました。グレーチングも土も重く体力を使う作業でした。土は土のう袋 100 枚分を超えるました。これらを荒れた側面に積み上げ、土壌流失防止に利用します。



狭い場所での作業



続々と集まる土のう

- グレーチングの機能回復と残土の土壌流出防止利用の双方が成果として得られました。参加くださった自然公園指導員の皆さん、ありがとうございました。

